

平成 30 年度第 3 回下野市公民館運営審議会 議事録（要旨）

日 時 平成 30 年 10 月 12 日（金） 13 時 30 分～15 時 20 分
場 所 国分寺公民館 101 会議室
出席者 委員長 小林 溶子
副委員長 小貫 シゲ子
委 員 宮川 長一、長岡 政秋、石崎 勝二、石田 節男、
兼丸 起子、館野 紀子、津野田 久江、齋藤 昌枝、
石川 常国
欠席者 委 員 石崎 雅也、佐藤 直子、谷萩 昌道、大柿 未央子
市側出席者 教育長 池澤 勤
生涯学習文化課長 手塚 芳子
国分寺公民館長 齋藤 光利
石橋公民館長 福島 正弘
南河内公民館長
兼 南河内東公民館長 山内 隆匡
南河内東公民館主幹 大塚 純子
生涯学習推進グループ 主幹 大門 啓美
主査 漆原 聡
公開・非公開の別 （ 公 開 ・ 一部公開 ・ 非公開 ）
傍聴人 0 人
報道機関 0 人
議事録（概要）作成年月日 平成 30 年 10 月 13 日

議 案

- （1）下野市公民館設置条例の一部改正について
- （2）平成 30 年度公民館講座上半期報告について
- （3）公民館評価マニュアルの作成について
- （4）その他

小林委員長	議題に沿って進める。
事務局	審議事項「下野市公民館設置条例の一部改正について」
各館長	諮問内容について事務局から説明後、委員から特に意見等がなかったため、委員会として案のとおり一部改正で答申をした。
小林委員長	では、平成30年度公民館講座上半期報告に入る。事務局より説明する。
石川委員	上半期実績報告、受講状況、各公民館の状況について説明。 各館の実績、応募状況、特徴的なものについてそれぞれ報告。 各館の報告に対して委員から質問はあるか。 公民館講座を15年受講し勉強し、役に立っている。公民館の指導員8名について一生懸命よくやっていると思うがここ数年、指導員の異動が多い。また、館長の異動も激しい。一つのところで落ち着いて仕事をしてもらいたい。次年度の講座の企画に関して相談を受けることもあるが、企画担当と実施担当が変わることが多い。交流を図るメリットはあると思うが如何なものか。
池澤教育長	市の職員の異動については、総務人事課で担当している。組織の活性化グループ制もあり、3年ぐらいで動く。退職者の絡みもある。
石川委員	指導員については希望ではなく、毎年面談を行う。10年勤務もいる。1年目は論文を書いてもらう。2年目以降は、講座に関して説明してもらっている。意図的に動かすというより状況に応じて動かしている。意識を持って動かしていただきたい。
池澤教育長	企画をしても、来年担当者として関わられるか分からないという声もある。
石川委員	各公民館の館長も講座を企画してもらっている。企画運営の大変さをわかってもらう為。
兼丸委員	高齢化社会の中、公民館の重要性を考えてもらいたい。長寿県1位、長野県は、一人当たりの公民館、コミセンの数が多い。 公民館に集まれば情報交換の場となる。公民館はかなり大切な役割を担っている。
事務局	託児ボランティアをしています。最近若いお母さんから、託児があるから外に出られるという声をいただく。お母さんもやはり息が詰まる時がある。外に出られると楽しい。また、栃木県は認知症が多いと聞く。高齢者にとって公民館は頼りになる場所である。高齢者を呼び寄せてもらいたい。
石田委員	来年は、託児ボランティアの体験入門講座を開催する予定である。 生涯学習推進委員をしている。先日、ワークショップがあり、そこで学校から意見があった。
小林委員長	花と樹木の学習会など、学校現場をどんどん利用してほしい。 (3)の議事に入る。
事務局	地域に根ざした公民館の方向性となる公民館評価マニュアルについて委員の意見を伺う。 前回、図書館のマニュアルを参考に作成し提示をした。

小林委員長 石崎委員	<p>公民館マニュアル、案2、P3「検証」の部分を「実績と課題」に変更した。 委員の皆さんのご意見を伺いたい。また、秦野市、相模原市の評価について参考にお配りしました。再度、皆さんにご討議いただきたい。公民館は数字の評価は中々難しい。書きやすい、意見が述べやすいようなマニュアルを作りたい。</p> <p>もう少し時間をかけてはどうか。 取りあえずトライしてみてもどうか。1年間取りあえずやってみるスケジュールにしてはどうか。</p>
小林委員長 事務局	<p>外に公表しないということですね。 ご意見がまとまれば、まずはそういう方向性で12月の段階でお示しした中で再度提示をし、3月で最終的な仮の評価をしていただく。</p>
小林委員長 石崎委員	<p>委員の皆さんどちらがよいか。 1回でこれはすばらしいというマニュアルは出来ない。やってみないと分からないというのが事実である。取りあえずトライしてみてもどうか。</p>
池澤教育長	<p>資料の秦野市の事例はとても分かりやすい。図書館の評価は数字できちんと出てくる為、非常に分かりやすいが、公民館の評価を数字で表すのは中々難しい。秦野市の事例は非常に参考になる。図書館のものが公民館に合うかどうか最初に検討すればよかった。図書館の評価マニュアルと秦野市の事例を合わせてひとつのものにしてまずやってみる。</p>
小林委員長 事務局	<p>次回までにこの資料を基にまとめてもらいたい。 議事(4)その他について事務局説明をお願いする。 次年度の講座について説明する。セカンドステージ講座について、南河内東公民館ではこちらの講座を成人講座へと変更する。限定すると多くの人が集まりにくいということからより多くの人に集まっていただけのように変更した。今後も定年制が伸びてくると考えられ、他の公民館においてもセカンドステージ講座から成人・まちづくり入門講座へと徐々に変更していく。</p>
小林委員長 池澤教育長 事務局	<p>石橋駅周辺公共用地利活用市民懇談会に出席していることを報告する。 石橋庁舎や石橋病院跡地の利活用に関して検討をしている。 来年度、旧国分寺庁舎の解体を予定している。事務局から説明する。 解体に伴い、給排水切り回し工事、電気線を切る工事を一体化しておりこわす前に切り離し工事を今年度行う。また、館内照明のLED化、H32年には空調交換、大ホールの整備など順次実施していく予定である。 H32年度には水回りの工事も行おう為トイレが使用できなくなる。 2~3か月の休館を予定している。</p>
小林委員長	<p>その他が終了しました。以上で閉会とする。 次回の予定、12月18日(火)午後1時30分から国分寺公民館で開催する。</p>